



平成 21 年 2 月 4 日

各 位

上場会社名 アルプス電気株式会社  
代表者名 代表取締役社長 片岡 政隆  
(コード番号 6770 東証第1部)  
問合せ先 財務部長 荒井 光夫  
TEL (03)3726-1211(代表)

## 業績予想の修正、配当予想の修正ならびに

### 特別損失の計上、繰延税金資産の取り崩しに関するお知らせ

平成 20 年 9 月 19 日に公表した、平成 21 年 3 月期（平成 20 年 4 月 1 日 ～ 平成 21 年 3 月 31 日）における通期の連結業績予想、ならびに配当予想について以下の通り修正致します。また、当第 3 四半期末において特別損失（投資有価証券評価損、減損損失）の計上、および繰延税金資産の取り崩しを実施しましたので、併せてお知らせいたします。

記

#### 1. 連結業績予想の修正

(1) 通期(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)の連結業績予想

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 20 年 9 月 19 日発表)	660,000	12,500	14,000	4,000
今回修正予想 (B)	540,000	△ 28,000	△ 27,000	△ 53,000
増減額 (B - A)	△ 120,000	△ 40,500	△ 41,000	△ 57,000
増減率	-18.2%	-----	-----	-----
(ご参考) 前期(平成20年3月期)実績	692,656	19,876	13,123	4,418

#### 2. 修正の理由

平成 21 年 3 月期（平成 20 年 4 月 1 日 ～ 平成 21 年 3 月 31 日）における通期の連結業績予想につきましては、同期第 3 四半期以降の受注が予想を上回るペースで減少し、先行きが不透明であったことから見直しを行うことが出来ませんでした。また、米国での金融不安に端を発した世界同時不況、また為替レートの急激な円高などにより、同期第 3 四半期の実績、及び残る第 4 四半期の見通しが大幅な落込みとなることから、通期の業績予想を修正致します。

また、当第 3 四半期末において、投資有価証券評価損や、規模の急激な縮小などに伴う複数製品における減損損失などの特別損失の計上、および繰延税金資産の取崩しを実施しております。

以上のことから、平成 20 年 9 月 19 日に公表した連結業績予想における、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益を、それぞれ修正致します。

### 3. 配当予想の修正について

当社の利益配分は、電子部品事業における連結業績をベースに、株主還元や将来に向けての投資、内部留保などのバランスを考慮して決定することを基本方針としておりますが、今回の業績予想の修正に伴い、一転して大きな損失の計上避けられない見通しであることから、予定していた期末配当金を、無配とさせていただきます。

### 4. 特別損失の計上について

#### (1) 投資有価証券評価損

当社が保有する投資有価証券のうち、時価または実質価額が著しく下落した銘柄について、平成21年3月期第3四半期末において、下記の通り評価損（特別損失）を計上しております。

平成21年3月期第3四半期における投資有価証券評価損

(連結)

(A) 平成21年3月期第3四半期会計期間(平成20年10月1日から平成20年12月31日まで)の投資有価証券評価損の総額(イーロ)	918 百万円
(イ) 平成21年3月期第3四半期累計期間(平成20年4月1日から平成20年12月31日まで)の投資有価証券評価損の総額	3,188 百万円
(ロ) 直前四半期(平成21年3月期第2四半期)累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)の投資有価証券評価損の総額	2,269 百万円

※四半期における有価証券の評価方法は、洗替え方式を採用しております。

※当社の決算期末は、3月31日です。

純資産額・経常利益額・当期純利益に対する割合

(連結)

(B) 平成20年3月期末の純資産額	280,317 百万円
(A/B×100)	0.3%
(イ/B×100)	1.1%
(C) 平成20年3月期の経常利益額	13,123 百万円
(A/C×100)	7.0%
(イ/C×100)	24.3%
(D) 平成20年3月期の当期純利益額	4,418 百万円
(A/D×100)	20.8%
(イ/D×100)	72.2%

#### (2) 減損損失

市場環境の急激な悪化により、複数製品の固定資産帳簿額を回収可能価額まで減額し、当該減少額136億円を減損損失（特別損失）として計上しました。

### 5. 繰延税金資産の取り崩しについて

当期の業績見通しを踏まえて、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、回収が見込めない部分について取崩すこととし、法人税等調整額（税金費用）83億円を計上いたしました。

(ご参考)

1. 第4四半期の見通しにおける為替レートにつきましては、1米ドル=90円、1ユーロ=120円にて見積りを行っております。

2. セグメント別売上高および営業利益の内訳

<通期予想>

(単位：百万円、%)

売上高	電子部品	音響製品	物流・その他	連結計
前回発表予想 (A) (平成 20年9月19日発表)	350,000	260,000	50,000	660,000
今回修正予想 (B)	290,000	196,000	54,000	540,000
増減額 (B - A)	△ 60,000	△ 64,000	4,000	△ 120,000
増減率	△ 17.1%	△ 24.6%	8.0%	△ 18.2%

営業利益	電子部品	音響製品	物流・その他	連結計
前回発表予想 (A) (平成 20年9月19日発表)	2,000	5,000	5,500	12,500
今回修正予想 (B)	△ 23,000	△ 9,000	4,000	△ 28,000
増減額 (B - A)	△ 25,000	△ 14,000	△ 1,500	△ 40,500
増減率	-----	-----	△ 27.3%	-----

3. 有価証券評価損について

当社が保有する有価証券のうち、期末日における時価が取得価格の50%以上下落した場合は減損処理の対象とし、30%以上50%未満の場合は、時価の回復可能性等を判断した上で減損処理を実施しています。

以 上